

消費生活通信

平成31年1月15日 発行
九州農政局 消費・安全部 消費生活課
№15

新年明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



◆九州農政局「消費者の部屋」のご紹介◆

九州農政局では、消費者の皆さまとのコミュニケーションを深める場として、「消費者の部屋」を開設しています。

消費者の部屋では、農林水産行政や、食に関する情報提供と併せて、消費者相談窓口（Tel.096-211-8582）を設け、皆さまからのご質問、ご相談を受け付けております。

「消費者の部屋」は、熊本地方合同庁舎A棟1階に常設展示室を設け、施策に関するパンフレットやイベント情報をご紹介するとともに、農林水産行政や食生活などの中からテーマを決めて「特別展示」を実施しています。

☆当面の展示スケジュール☆

- 1月15日～1月25日 太陽と大地の恵み 砂糖・でん粉（（独）農畜産業振興機構）
- 1月28日～2月8日 フラワーバレンタイン～男性から女性に花束を贈る 2月14日～
- 2月12日～2月22日 野生鳥獣の被害と資源としての活用について
～野生鳥獣を「マイナス」から「プラス」の存在に～
- 2月25日～3月8日 地理的表示（GI）活用した地域ブランドの振興
- 3月11日～3月22日 農山漁村女性の日（3月10日）について
- 3月25日～3月29日 食べると危険な植物・食中毒をおこす 細菌やウイルス、寄生虫！



▶ 12月25日～1月11日は「国産家畜の改良」をテーマに展示しました。
（独立行政法人 家畜改良センター熊本牧場）



（独）家畜改良センターの概要



熊本牧場でのあか牛の改良方法



パンフレットの紹介



フラワーバレンタイン～男性から女性に花束を贈る 2月14日～



日本におけるバレンタインデーは、「女性から男性へチョコレートで愛を伝える日」とされ久しいですが、世界におけるバレンタインデーは、男女がお互いに愛や感謝の気持ちを伝えあう日として、主に男性から女性へ花を贈ることがポピュラーです。

「フラワーバレンタイン」とは、本来のバレンタインデーの姿である、“男女がお互いにLOVEを伝え合う”という美しく温かいコミュニケーションを、花き業界がフラワーギフトを通じてお手伝いしようとして取り組んでいるものです。

「大切な人に花を贈る 2月14日」にしてみませんか？



◆「身近な食品表示」「健やかな食生活を考える」に関する説明を行いました◆

平成30年12月7日（金曜日）、熊本県阿蘇市の県北広域本部阿蘇地域振興局で開催された、熊本県及びくまもと食の安全安心県民会議主催の「地域における意見交換会」において、阿蘇地域の食品事業者9名及び熊本県立大学の学生10名の方に説明を行いました。

まず、当局消費・安全部消費・安全チームの担当者から、「身近な食品表示～少し斜めから見てみると～」の演題について、サンドウィッチを例に食品表示の現状や課題等について説明しました。

次に、当局消費・安全部消費生活課の担当者から、「健やかな食生活を考える」の演題について、食品が「安全である」とはどういうことか、ふだんの食生活で気をつけたいポイント等を紹介しました。

その後、本日の話題について、食品事業者と熊本県立大学の学生を4～5名ごとに4グループに分けてワークショップを行い、活発な意見交換を行う中で理解を深めて頂きました。



◆ノロウイルスによる食中毒に気をつけましょう！◆

ノロウイルス予防



食中毒防止の徹底

- ☑ 手洗い
- ☑ 加熱調理
- ☑ 調理器具消毒



▶症状は？

- ・食後1～2日で、おう吐、激しい下痢、腹痛などをおこします。
- ・幼児や抵抗力が落ちている人では、症状が重くなる場合があります。

▶原因は？

- ・ウイルスを含む二枚貝（カキ等）を生や十分加熱せずに食べた場合
- ・感染している人の手を通じウイルスが付いてしまった食品や、ウイルスの付いた包丁などで調理した食品を食べた場合
- ・ノロウイルスによる食中毒にかかった人の便や吐いたものを通じて感染する場合（これらをきちんと処理しないと、乾燥したときにウイルスが舞い上がり、口に入って感染することもあります。）

▶予防のポイントは？

- ・ウイルスを含んでいると疑われる食品の中心部が85～90℃で90秒間以上の加熱をすれば、ウイルスの感染性はなくなるといわれています。
- ・カキなどの二枚貝は、体調の悪いときは生で食べるのを控えましょう。
- ・加熱調理用のカキや二枚貝は生で食べないようにしましょう。
- ・生の二枚貝にさわったら、よく手を洗いましょう。
- ・生の貝に使った調理器具は、使い終わったらすぐに洗いましょう。洗った後、熱湯をかけると消毒効果があります。
- ・食中毒にかかった人の便や、吐いたものから感染することもあるので、さわったら石けんで手を洗いましょう。
- ・便や吐いたものを処理するときは、使い捨ての手袋とマスクを着けて、汚物の中のウイルスが飛び散らないように、ペーパータオルなどで静かに取り除きましょう。
- ・便や吐いたもので汚れた床などは、表示されている濃度にうすめた塩素系漂白剤を含ませた布でおおい、しばらくそのまま置いて消毒しましょう（塩素系漂白剤を使うときは、表示されている使用方法を守りましょう）



お届け先の変更はお早め
にお知らせください！

（お問い合わせ先）

農林水産省九州農政局消費生活課 谷口
〒862-8527熊本市西区春日2-10-1
TEL 096-211-9111（代）内線4220 FAX 096-211-9700

